

第6学年 1組 学級活動(3) 指導案

第6学年1組 (児童数31名)

指導者 小川 毅史

1 題材 「自分探し」の旅

【学級活動(3) ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成】

2 児童の実態

本学級の児童は、4月から最高学年として、1年生当番、たてわり班活動、クラブ活動、委員会活動等で友達と協力し、下級生をまとめる経験を積み重ね、最高学年として成長してきた。2学期には毎年、キャリア教育として地域からゲストティーチャー(ねりパパ)を招いて授業を行い、学ぶ意義を考えたり、地域の中学校と交流して中学校生活を考えたりすることを通して、将来に目標をもって、日常生活をよりよくしていこうとする態度が育ってきている。また、学期はじめや学校行事ではキャリアパスポートを活用し、学年でめあてを立てたり、個人でめあてを立てたりし、目標に向かって努力する清々しさや、全力を出し切った後の達成感を味わい、よりよい学校生活へとつなげてきた。

本時は地域のゲストティーチャー(ねりパパ)に来て話をしてもらった第2回目である。本題材では、これまでの自分自身を振り返り、自分が大切にしていきたいことや自分の目標像を考え、明るく希望をもって残りの小学校生活を楽しみ、中学校へとつなげるようにしていきたい。

3 本時のねらい

ゲストティーチャーの話を聞き、みんなで話し合うことを通して、今の自分や「なりたい自分」・「将来の自分」についての考えを深め、その実現に向けてよりよく生きることを考えることができるようにする。

4 本時の展開

| | 学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 | □指導上の留意点 ☆評価 |
|----------------------------|--|---|
| 導入 つかむ | 1. 「あこがれている人」についてのアンケート結果から、それぞれの「なりたい自分」のイメージを分析し、問題意識を高める。 ・友達にあこがれている ・スポーツ選手にあこがれている | □結果をモニターに映し、学級や学年の結果を比較する。まだイメージがもてなくてもよいことや、具体的な人柄を共有することで、「なりたい自分像」をもてるようにする。 |
| 「なりたい自分」に向けて、自分ができることを決めよう | | |
| 展開 さぐる | 2. 地域のゲストティーチャーの話を聞く。 ・悩むことや迷うことは誰にでもあるんだ。 ・私にもできそうだな。 3. ゲストティーチャーの話を聞き、率直に思ったことや考えたことをまとめ、どんな「自分」になりたいかを考える。 ○話を聞いて思ったことや感じたことを書きましよう。 ・いろいろな仕事があるんだな。 ・仕事の選び方って、おもしろいな。 ○今の「なりたい『自分』の姿」はどんな姿でしょう。 ・優しい人、思いやりのある人 ・いつでも前向きに明るく生きていきたい。 4. 「なりたい自分」に向けてどんなことが必要かをグループで話し合う。 5. グループで出た意見を発表し、いろいろな考えを知る。 | □自身のこれまでの生き方を振り返りながら、その時々で、「なりたい自分」をどのように捉えたり、修正したりしていたか等にも触れて話をしてもらう。 □ワークシートに自分なりの考えを書けるように声を掛け、なかなか思い付かない児童には、どちらか一方だけでもよいことを伝え、今現在の「なりたい自分」を考えるように助言する。 □個別の質問や相談を受けるなどして、記入の補助をする。 |
| みつける | | □1つの意見にまとめる必要はないこと、代表が発表することを伝える。 □1つのグループが複数意見を発表してもよいことを確認し、分類・整理しながら、板書に記録をする。 |
| 終末 きめる | 6. 今日の話合いを振り返り、「残りの小学校生活において、自分が取り組むこと」を決める。 | □意思決定が難しい児童には、板書を参考にさせて考えるよう助言する。 ☆話し合ったことを生かして、自分がよりよく生きることへの考えを深め、実践することを意思決定している。【思考・判断・表現】 <観察・学習カード> |